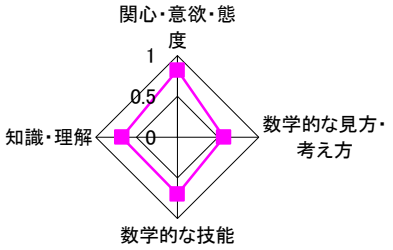
平成28年度　**教科名[数学]**　中15　練馬区立光が丘第一中学校

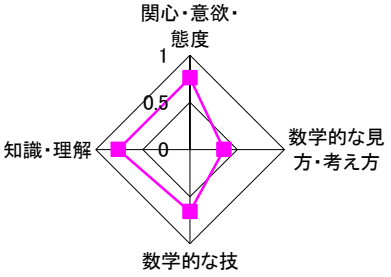
内容別・観点別の分析　（様式2）

1年	観点別平均達成率
関心・意欲・態度	82%
数学的な見方・考え方	57%
数学的な技能	70%
知識・理解	68%



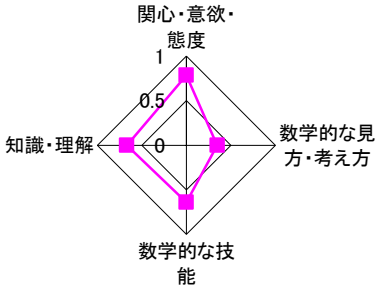
定期考査及び7月までの指導状況の分析

2年	観点別平均達成率
関心・意欲・態度	76%
数学的な見方・考え方	36%
数学的な技能	66%
知識・理解	76%



定期考査及び7月までの指導状況の分析

3年	観点別平均正答率
関心・意欲・態度	79%
数学的な見方・考え方	35%
数学的な技能	64%
知識・理解	67%



定期考査及び7月までの指導状況の分析

指導方法の課題分析と具体的な授業改善策及び補充学習等の計画（様式３）

	指導方法の課題分析	具体的な授業改善策	補充的・発展的な指導計画
1年	「関心・意欲・態度」、「技能」に関しては概ね定着してきているが、「数学的な見方・考え方」の観点が不十分なところがあるので、この点について指導改善する必要がある。	・繰り返し反復して学習することによって、基礎学力の定着を図る。 ・自らの考え方を説明するような指導場面を設定する。 ・すぐに解説するのではなく、ヒントを与え、生徒自らの力で答えを導かせ、分かる喜びを経験させる。	・生徒の小テストの誤答から、何が理解していないのかを分析し、授業で復習を行っていく。 ・学力向上支援講師と連携して個別指導と補充学習を実施する。 ・解決のための課程を表現するような課題を設定し取り組ませる。
2年	知識理解を深めるために重要なポイントを繰り返し指導する必要がある。計算力を高める問題練習を多くする必要がある。数学的な見方・考え方の観点の評価を上げるには、問題の内容を豊富にし扱う努力が日頃から大切である。	・小テストを実施し、理解していない生徒にはノートのとり方を含め学力補充支援教員とともに個別指導を行うようにしている。 ・意欲の差があり集中できない生徒が各クラス３名以上いるので注意をしながら対応している。	・連立方程式の前に１年生の文字式・方程式の学力補充を４月当初から放課後の補充学習を行い学力の低下を防ぐように努力する。結果半数以上の生徒が理解できるようになったが依然として意欲の足りない生徒もいるので補充学習を継続して行っていく。
3年	最上級生となり、学習に前向きに取り組む姿勢ができてきた。知識や技能も少しずつ定着してきている。一方で「数学的な見方・考え方」が他の観点に比べて不十分であるのでこの点について指導改善する。	・レポートや小テストなど色々な課題を解かせて、深く考える場面を増やしていく。 ・自らの考え方を説明できるような指導場面を設定する。 ・すぐに解説するのではなく、ヒントを与え、生徒自らの力で答えを導かせ、分かる喜びを経験させる。	・生徒の小テストの誤答から、何が理解していないのかを分析し、授業で復習を行っていく。 ・学力向上支援講師と連携して個別指導と補充学習を実施する。 ・入試レベルの問題を解かせて、考え方の定着を図る。